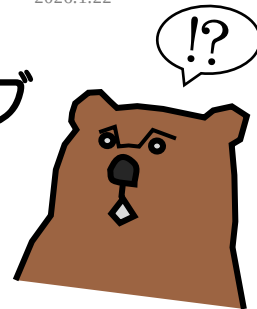


初
報第9回 占冠村ヒグマミーティング
「わたしたちのヒグマを考える」

ご あ ん な い



占冠村ヒグマミーティングは、ヒグマに強い地域づくりを目指す村と村民有志、専門家による学習会です。日本全国がクマ騒動の中、わたしたちが浮足立つことなく、油断するでもなく、納得のいくヒグマ対応を自らで考え、自らで実施していくためには、ヒグマを知り、自らを省みる取り組みは欠かせません。9回目となる今回は、日頃の懸案を本気で話し合って相互理解や活動方針を導く新企画「小ぐま会議」を創設。恒例の調査研究報告「ひぐまセミナー」や体験閲覧コーナー「ひぐまひろば」もいっそうの充実を目指します。ヒグマでお悩みの方、ヒグマが好きな方、その両方の方、どちらでもない方も、ぜひご参加ください。

キ
こ
て

◆主催：第9回占冠村ヒグマミーティング実行委員会

◆共催：富良野地区広域教育圏振興協議会 ◆協力：酪農学園大学／占冠村

令和8年 2月14日（土曜日）

「小ぐま会議」13時～19時

占冠村総合センター（村役場）2階相談室

予め設定したテーマに沿って、少人数で話し合いを行い、その結果を翌日の「ひぐま会議」に持ち込みます。

会議テーマ・会議参加者募集します

詳細は裏面をご覧ください。



「ひぐまひろば」

2/14 11時～19時

2/15 10時～15時

村役場2階視聴覚室

開催中は常設です。
お好きなときにご利用ください。

- 書籍、文献閲覧コーナー
- 標本、模型展示コーナー
- ヒグマゲームコーナー
- 塗り絵・工作コーナー
- しるこ会 ほか

令和8年 2月15日（日曜日）

「ひぐまセミナー」11時～15時

占冠村総合センター（村役場）2階視聴覚室

大学など研究機関の発表と、占冠村によるヒグマ年次報告

「小ぐま会議」を受けたパネルディスカッション。観覧自由

発表の演題など詳細は2月1日発行予定の

第2報でご案内いたします



お問い合わせ、お申込み連絡先：第9回占冠村ヒグマミーティング実行委員会事務局
電話 090-8966-3000（野生鳥獣専門員 浦田）

第1日目「小ぐま会議」 会議テーマ募集について

小ぐま会議は・・・

- ・予め設定したテーマに沿って話し合いを行い、その結果を翌日の「ひぐまセミナー」に持ち込み共有します。
- ・傍聴者を交えず、議論に参加する人だけで集まります。参加者全員が会議結果に関与し、責任を有することとなります。オンラインでの参加も可とします。匿名での参加は不可。
- ・テーマを5つ程度定め、テーマごとに参加者を定めます。テーマと参加者の決め方は、事務局案に加えて一般からの募集も行った上で、事務局一任とさせていただきます。
- ・ひとつのテーマにつき、趣旨説明、討論、まとめを併せて45～60分程度でまとめます。
- ・会議の結果は要約を作成し、2日目のひぐまセミナーで口頭発表するほか、村ホームページ等に掲載の全体報告の中に収録します。
- ・傍聴席は設けませんが、お子様など、参加者のお連れの方の待機席をご用意します。併設の「ヒグマひろば」もご利用ください。

小ぐま会議テーマ・参加者応募方法

応募される方は、下表の内容を事務局までお知らせください。

会議テーマのご提案は、ご自身の参加希望の有無を問いません。お気軽にどうぞ。

募集期間は **1月23日** から **1月29日** までです。

小会議テーマ案	実施されてほしいものに○か優先順1～5を記載	自身が参加したいものに○か優先順1～5を記載
(ご提案①)		
(ご提案②)		
(事務局案) 村のヒグマ対応従事者のあり方と育成を考える		
(事務局案) 村の次年度ヒグマ対応体制(ゾーニング管理案)を考える		
(事務局案) 観光地のヒグマ対策の現在地と努力の方向を考える		
(事務局案) 学術捕獲とGPSテレメトリ調査、ヘアトラップ調査のいまと明日を考える		
氏名・住所・連絡先		

締め切り後に事務局にて決定した会議テーマは、2月1日発行予定の第2報(広報折込&ホームページ)でご案内いたします。会議参加の依頼は別途、事務局からご本人にお伝えいたします。ご希望に沿えなかった場合はご容赦ください。

応募のご連絡方法は何でも結構です(電子メール、写真転送、ファックス、電話、対面ほか)

応募先: 第9回占冠村ヒグマミーティング実行委員会事務局

電話 090-8966-3000 電子メール tsuyoshi.urata@vill.shimukappu.lg.jp (浦田直通)

ファックス 0167-56-2184 (占冠村役場 農林課 林業振興室 浦田宛とご記載ください)